

JIHS 国立感染症研究所サーベイランスオフィサープログラム
(Surveillance Officer Program/ SCOP) 実施要項



2025 年 11 月 11 日

1. プログラムの方向性

COVID-19 パンデミックの経験は、自治体で感染症アセスメントができる人材開発の必要性を改めて浮き彫りにした。特に感染症サーベイランスは、リスクアセスメントと対応を行う際の基盤的な情報システムであり、精通した専門的人材の育成の意義は大きい。さらに、このような人材をハブとして中央感染症情報センターと地方感染症情報センターをはじめとする自治体の感染症担当者とのネットワーク強化は我が国の感染症対策に大きく資するものと考えられる

2. 目的

感染症対策を進めていく上での基盤的な情報システムの 1 つである感染症サーベイランスを専門的な知識を持って活用できる人材（サーベイランスオフィサー）を育成するために、感染症サーベイランスに関して感染症としての特徴から感染症疫学や公衆衛生に基づいた知識や技術を習得する。また、より専門的な知見や感染症アセスメントを議論できるようなプラットフォームを提供する。

3. プログラム全体の概要

感染症サーベイランスに関する集中研修（2 週間）および研修生と感染研などによる SCOP ネットワークへの参加

4. プログラムの参加要件

- ① 自治体職員で感染症サーベイランス業務を担当しているあるいは興味があり、所属する自治体から本プログラムへの参加が認められていること（応募時に自治体に確認させていただきます）
- ② 終了後も継続して SCOP ネットワークに参加する意思があること

参加要件ではありませんが、マイクロソフトエクセルなどの表計算ソフトで集計やグラフを作成できるくらいのスキルがないと 2 週目の講義（解析ソフトの使い方）および実習は難しいと思います。不明な点がありましたらお問い合わせください。

5. 集中研修プログラムの概要

日程：2026 年 1 月 19 日（月）から 1 月 30 日（金）の 2 週間（予定）

ただし、1 月 22 日、23 日両日は保健医療科学院で実施される第 39 回公衆衛生情報研究協議会研究会があるために終日研修はありません

時間：9:00～15:50（感染症トピックスは 16:00 に終了します）

定員：50 名

方式：対面あるいはオンラインによるハイブリッド形式

※ただし、1 月 29-30 日に開催される実習形式には対面で参加していただきます

会場：JIHS 国立感染症研究所共用第一会議室

6. 集中研修プログラムの目的

感染症サーベイランスに関する基礎知識を習得する

サーベイランスデータの収集・整備技術の習得と異常検知への対応について習得する

サーベイランスデータアセスメントおよび情報還元の演習を通じた習得

サーベイランスオフィサーネットワークとしてのネットワーク構築

7. 集中研修プログラム（暫定版、トピックス別）

感染症の基礎知識

感染症疫学の基礎知識

感染症法について

感染症の検査法

サーベイランス総論

我が国のサーベイランスの仕組み

サーベイランスデータの還元

ワクチン予防疾患

薬剤耐性菌

感染症法における食中毒

呼吸器感染症

性感染症

災害時の感染症サーベイランス

動物由来感染症・節足動物媒介感染症

輸入感染症

感染症と検疫

解析ソフトの使い方

データサイエンスへの橋渡し

リスクコミュニケーション

サーベイランス評価

感染症サーベイランスとしての情報活用

サーベイランスアセスメント実習

サーベイランス還元実習

8. 今後のスケジュール（暫定版）

11月12日 開催案内を送付、受講者募集開始

12月17日 受講者申込締め切り（※開催日の1か月前程度）

12月下旬 受講者への通知メール配信（※開催日の3週間前程度）

1月19日～1月30日 集中研修の開催

※本講習は学習管理システム（LMS）を利用して運営を行います。受講に必要なID・パスワードの通知は別途委託業者である株式会社ネットラーニング（以下、ネットラーニング）より通知いたします。

9. 申し込み方法

以下指定のフォームより必要事項を記入の上、お申込みください。

申し込み締め切り: 2025年12月17日（水）

<https://forms.office.com/r/HrCzwr5c04>

※申込受付フォームには、ネットラーニングが作成・管理しています。フォームに記載された個人情報の取扱方針をご確認のうえ、ご回答ください。

10. 注意事項

集中研修において、講義形式の研修については対面あるいはオンライン参加のハイブリッドとさせていただきます。ただし1月29日（木曜日）および30日（金曜日）の2日間にわたる実習については基本的に対面のみの参加となります。

研修プログラムに参加されない方にも講義形式の研修についてはオンラインでの参加を受け付けます。ただし事前登録制といたしますので、9. 申し込み方法のフォームからお申し込みください。なお、Zoomリンクの共有はお控えください。

定員を超えた場合には、人数を調整させていただくことがあります

今年度はサーベイランスオフィサープログラム参加に関する費用はかかりません。対面参加にかかる交通費や宿泊費などは支給いたしません。

集中研修を修了された方には、サーベイランスオフィサープログラムの情報管理システムに引き続き参加できるようにアカウントを付与（継続）いたします。また修了書を発行いたします。

感染症対策や感染症集団発生に対応する短期研修プログラムなどをすでに受講された方の参加を妨げるものではありませんが、プログラムの目的と集中研修の構成をよくご確認ください。

1 1. 問い合わせ先

プログラム全般に関する問い合わせ

国立感染症研究所感染症サーベイランス研究部

情報管理研修室（担当：神垣、稲葉）

電話：03-5285-1111

メール：scopout@nih.go.jp

申込受付フォームに関するお問い合わせ

株式会社ネットラーニング 運営事務局（担当：村澤、鹿野又）

メール：nl_csier@nl-hd.com